

— 総括表 —

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

豊田地区は、栄区の中で南西の位置にあり、戸塚区と鎌倉市、一部港南区と隣接しています。最寄りの駅は戸塚駅・本郷台駅・大船駅となりますが、多くの方がバスを利用することになります。高齢化率は平成31年3月末現在で29.1%（横浜市24.3%、栄区30.8%）ですが、最も低い長尾台町の20.9%から最も高い本郷台での41.2%と地区内でも差があり、課題もそれぞれ異なっています。最も高齢化率の高い本郷台では75歳以上の後期高齢化率も24.5%となっており、住民の約4人に1人が75歳以上となっています。

高齢化が進む中で、ケアプラザだけではなく、それぞれの地域で「歩いて行ける集まりの場」が必要となっていると同時に、歩くのが難しい方の送迎という問題も大きくなりつつあります。

一方で要介護認定者数は横浜市平均に比べ少なく、介護度も低い傾向にあり、健康志向の高い地域であることが伺えます。介護予防に力を入れ、住み慣れた地域で、いつまでもその人らしい生活ができるように支援します。

また、高齢者のみでなく、子育て支援においても、母親の孤立防止のため地域の中での繋がりづくりが必要であり、学齢期の子どもについても、放課後に気軽に集まることのできる場所が少ないという状況や孤食、貧困の課題が豊田エリアの中でも明らかになってきています。障害児者においては、地域の中でもまだ理解が少なく、地域の中で見守られながら地域の一員として生活できるよう理解・啓発が必要な状況です。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
□	■	<地域福祉保健計画の推進支援> ・支え合い連絡会、小委員会を定期的に開催し、地区別計画の推進を行う。 ・各委員会と協働し、地域課題についての検討を行う。 ・住民主体で活動が推進されるよう、研修会、講座、視察等必要に応じた適切な支援について検討する。
□	■	<地域ケア会議の開催> ・個別ケースについての地域ケア会議を開催し地域課題を把握する。 ・個別ケースから把握した課題を包括レベルケア会議、協議体等に繋ぐための機会をつくる。 ・身近な場所で集える場、住民同士の支え合いの必要性等を地域住民と共有する機会をつくる。
□	■	<集まる場の支援> ・各サロンへの参加と介護予防の取組支援を行いサロン内での現状把握を行う。 ・外出困難事例を基にした地域ケア会議等を開催し地域住民と課題を共有する。 ・支え合い連絡会、小委員会、協議体等により具体的な検討を行う。
□	■	<民生委員や専門職との情報共有> ・各地域の民生委員の方々と、専門職との情報交換を行い、必要な情報を共有する機会を図る。 ・地域団体との専門職(ケアマネジャーを中心に)との情報を共有し連携する場を図る。
□	■	<認知症への取組> ・福祉教育の一環として小学生向けに認知症サポーター養成講座を実施したり、地域のキャラバン・メイトとともに、認知症の理解啓発に向けて取り組む。 ・「お茶べりサロン・クローバー」(介護者の集い)や、「ガーデニング部」では、認知症のある人ない人が一緒になって活動する場を作ることで、より自然な形で認知症への理解が進むように働きかける。

◆ 事業報告・事業実績評価

■ 振り返り

<個別支援>

・高齢化が進む中で、相談件数も年間約2,000件に達するなど増加している。介護保険についての相談が毎年最も多いが、それ以外にも高齢者と一緒に住んでいる息子や娘についての相談や認知症についての相談など、困難なケースについての相談も増えてきており、地域との連携や各関係機関との連携を深めていく必要性を改めて感じるようになった。

<地域支援>

・福祉保健計画(第3期)の推進を中心に、4期計画策定についても取り組むことができた。認知症カフェについての学びを深めたり意見交換を行うとともに、あいさつ運動で次の3年間の標語をエリア内の小中学校と協力して行うなど着実に計画を推進した。また第4期計画の策定では、策定体制を構築するとともに幅広く地域住民から生活課題を聞き取る「地区懇談会」を開催し、次年度の策定につなげることができた。

□ 区からのコメント

高齢化が進む中で、集まる場への支援として、小委員会や協議体等を通じて、地域での見守り体制の状況把握を行うことができています。また、担い手の発掘に向けては、地域活動の把握のためのアンケート調査を実施するなど積極的に取り組んで頂いています。地域福祉保健計画に関しては、第3期計画を推進するとともに、次年度の第4期計画の策定に向けて、体制の構築や、地域住民から生活課題を聞き取る「地区懇談会」を開催するなど、着実に取り組んで頂いています。

今後は、現状であげられているとおり、高齢者のみでなく、子育て支援や障害児者への理解に向けた取組をお願いします。

平成31年度豊田地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	ケアプラザという公の立場を意識し、ホームページ等の資料を提示した上でサービス提供事業者を選択してもらうなど、特定の事業者や利用者への利益誘導等に陥らないよう公正中立を常に意識し、業務に努めます。	「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程及び個人情報保護に関する方針」に基づき、全職員が統一した認識とルールによって個人情報の保護にあたるよう努めます。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する内部研修を実施し、意識啓発を図ります。
実績	サービス利用の決定に関しては、利用者の意向を尊重し、公正・中立的な立場で偏りのないサービス事業所の選定による支援を行うために、サービス開始前における複数のサービス事業所等の情報提供を行いました。	個人情報保護に関する規程及び方針に基づき、全職員が統一した認識によって個人情報保護にあたるよう努めました。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する所内研修を実施し、意識啓発を図りました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	要支援1・2と認定された高齢者が日常生活において具体的な生活目標を持ちながら生活を送っていただけるように、利用者と家族との協働作業による介護予防プランの計画作成を行います。	利用者・家族の話をしっかり傾聴し、利用者のニーズや意向に基づいたケアマネジメントを行います。また、介護支援専門員のケアマネジメントの向上を図り、また抱えた課題を組織で解決し、解決のノウハウを蓄積します。 法令遵守し、安定した介護報酬を確保します。										
職員体制	管理者・主任ケアマネジャー1名(常勤兼務)、保健師等1名(常勤兼務)、社会福祉士2名(常勤兼務)、予防プランナー3名(非常勤専任)	管理者・介護支援専門員1名(常勤専任) 介護支援専門員3名(非常勤専任)										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	253	264	259	259	264	269	129	125	129	123	120	122
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	275	270	270	285	254	258	114	109	114	90	83	80

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護										
目標	介護保険で「要介護」と認定を受けた方に、日帰りで食事・入浴・機能訓練などのサービスを提供し、ご本人やご家族の日常生活を支援します。	介護保険で「要支援」と認定を受けた方に、日帰りで食事・入浴・機能訓練などのサービスを提供し、ご本人やご家族の日常生活を支援します。										
実施体制	【実施日数】 年間360日(休日:12/29~1/3) 【提供時間】 10:15~15:20 【定員】 31名(通所介護・第1号通所介護合計)	【実施日数】 年間360日(休日:12/29~1/3) 【提供時間】 10:15~15:20 【定員】 31名(通所介護・第1号通所介護合計)										
実費負担	○1割負担分(ご利用1回につき) (要介護1)599円、(要介護2)708円、(要介護3)816円、 (要介護4)926円、(要介護5)1,034円 食費負担 750円(食事キャンセル料500円) 各種加算 サービス提供体制強化加算Ⅰイ 20円 入浴加算 54円	○1割負担分(月額) (要支援1)1,766円、(要支援2)3,621円 食費負担 750円(食事キャンセル料500円) 各種加算 体制強化加算Ⅰイ (要支援1)78円、(要支援2)155円 運動器機能向上加算 242円										
職員体制	管理者1名(常勤)、生活相談員2名(常勤)、 介護員14名(非常勤)、看護師(機能訓練指導員)3名(非常勤)、 送迎運転員3名(非常勤)、調理員5名(業務委託)	管理者1名(常勤)、生活相談員2名(常勤)、 介護員14名(非常勤)、看護師(機能訓練指導員)3名(非常勤)、 送迎運転員3名(非常勤)、調理員5名(業務委託)										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	564	592	621	655	642	624	20	21	28	28	27	21
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	641	646	619	599	618	664	17	19	23	22	23	24

平成31年度「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	
指定管理料	16,631,871		16,631,871	16,651,060	△ 19,189	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当 事業	0		0	213,700	△ 213,700	
自主事業収入			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0		0	178,662	△ 178,662	
印刷代	0		0	61,456	△ 61,456	
自動販売機手数料			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
その他 (指定管理充当分)	0		0	117,206	△ 117,206	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	2,782,500		2,782,500		2,782,500	
その他 (提案時控除 法人負担分)	1,617,669		1,617,669		1,617,669	
収入合計	21,032,040	0	21,032,040	17,043,422	3,988,618	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	9,125,747	2,187,253	
本俸	8,000,000		8,000,000	6,629,989	1,370,011	
社会保険料	800,000		800,000	686,476	113,524	
手当計	1,000,000		1,000,000	1,710,540	△ 710,540	
健康診断費	20,000		20,000	10,004	9,996	
勤労者福祉共済掛金	15,000		15,000	6,750	8,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,478,000		1,478,000	81,369	1,396,631	
その他	0		0	619	△ 619	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	1,045,867	312,133	
旅費	20,000		20,000	5,350	14,650	
消耗品費	350,000		350,000	248,496	101,504	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	0	200,000	
通信費	200,000		200,000	327,533	△ 127,533	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	52,725	47,275	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	21,228	78,772	
職員等研修費	10,000		10,000	13,689	△ 3,689	
振込手数料	48,000		48,000	0	48,000	
リース料	250,000		250,000	114,032	135,968	
手数料	0		0	1,320	△ 1,320	
地域協力費	80,000		80,000	62,000	18,000	
その他	0		0	199,494	△ 199,494	
事業費	306,000	0	306,000	539,870	△ 233,870	
運営協議会経費	42,000		42,000	49,723	△ 7,723	予算:指定額
指定管理料充当 事業	264,000		264,000	490,147	△ 226,147	
管理費	7,150,000	0	7,150,000	5,542,664	1,607,336	
建築物・建築設備点検	300,000		300,000	0	300,000	
光熱水費	3,200,000	0	3,200,000	2,753,451	446,549	
電気料金	1,100,000		1,100,000	0	1,100,000	
ガス料金	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
水道料金	1,100,000		1,100,000	0	1,100,000	
清掃費	1,436,000		1,436,000	1,181,860	254,140	
修繕費	474,000		474,000	320,085	153,915	予算:指定額
機械警備費	300,000		300,000	220,614	79,386	
設備保全費	1,440,000	0	1,440,000	870,638	569,362	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	434,027	△ 134,027	
消防設備保守	60,000		60,000	22,167	37,833	
電気設備保守	80,000		80,000	55,470	24,530	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	22,062	27,938	
駐車場設備保全費	0		0	336,912	△ 336,912	
その他保全費	950,000		950,000	0	950,000	
共益費	0		0	196,016	△ 196,016	
その他	0		0	0	0	
公租公課	905,040	0	905,040	672,367	232,673	
事業所税			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
消費税	905,040		905,040	672,367	232,673	
印紙税			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
その他 ()			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	基本的に、この行は入力しません
本部分			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
当該施設分			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
二一ス対応費			0	0	0	基本的に、この行は入力しません
支出合計	21,032,040	0	21,032,040	16,926,515	4,105,525	
差引	0	0	0	116,907	△ 116,907	

自主事業費収入	264,000		264,000	213,700	50,300	自主事業への参加料等
自主事業費支出	264,000		264,000	490,147	△ 226,147	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 276,447	276,447	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成31年度「豊田地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	29,108,000		29,108,000		29,108,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当事業（包括）	0		0	36,100	△ 36,100	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	52,000	△ 52,000	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理充当分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	88,100	36,994,900	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	34,414,212	△ 1,725,212	
本俸	23,904,000		23,904,000	16,829,500	7,074,500	
社会保険料	4,500,000		4,500,000	4,496,965	3,035	
手当計	2,700,000		2,700,000	11,614,034	△ 8,914,034	
健康診断費	50,000		50,000	50,368	△ 368	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	31,750	3,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,500,000		1,500,000	1,388,639	111,361	
その他	0		0	2,956	△ 2,956	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	851,690	451,310	
旅費	100,000		100,000	36,432	63,568	
消耗品費	254,000		254,000	0	254,000	
会議開い費	0		0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	0	200,000	
通信費	200,000		200,000	183,543	16,457	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	288,616	△ 188,616	
図書購入費	20,000		20,000	0	20,000	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	5,642	44,358	
職員等研修費	50,000		50,000	15,346	34,654	
振込手数料	50,000		50,000	200	49,800	
リース料	229,000		229,000	165,241	63,759	
手数料	0		0	200	△ 200	
地域協力費	50,000		50,000	0	50,000	
その他	0		0	156,470	△ 156,470	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	938,352	251,648	
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業（包括）	100,000		100,000	111,612	△ 11,612	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	152,400	△ 1,400	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	191,340	117,660	予算：指定額
管理費	1,901,000	0	1,901,000	1,473,337	427,663	
建築物 建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	900,000	0	900,000	731,910	168,090	
電気料金	300,000		300,000	0	300,000	
ガス料金	300,000		300,000	0	300,000	
水道料金	300,000		300,000	0	300,000	
清掃費	250,000		250,000	314,165	△ 64,165	
修繕費	126,000		126,000	85,084	40,916	予算：指定額
機械整備費	100,000		100,000	58,644	41,356	
設備保全費	525,000	0	525,000	231,429	293,571	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	115,373	△ 15,373	
消防設備保守	50,000		50,000	5,892	44,108	
電気設備保守	60,000		60,000	14,744	45,256	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	5,864	44,136	
駐車場設備保全費	0		0	89,556	△ 89,556	
その他保全費	265,000		265,000	0	265,000	
共益費	0		0	52,105	△ 52,105	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	基本的に、この行は入力しません。
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	37,677,591	△ 594,591	
差引	0	0	0	△ 37,589,491	37,589,491	

自主事業費収入	264,000		264,000	88,100	175,900	自主事業への参加料等
自主事業費支出	264,000		264,000	455,352	△ 191,352	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 367,252	367,252	

管理許可 目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可 目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可 目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成31年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:豊田地域ケアプラザ

平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				7,375	6,748	627	17,696	15,719	1,977	54,160	61,358	-7,198			0
	その他	0	0	0	7,375	8,821	-1,446	1,031	0	1,031	12,675	15,980	-3,305	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0	7,375	8,821	-1,446			0			0			0
	事業・負担金収入			0				1,031		1,031	6,017	8,881	-2,864			0
	食費			0						0	6,558	6,958	-400			0
				0						0			0			0
				0						0			0			0
	その他			0						0	100	141	-41			0
	収入合計(A)	0	0	0	14,750	15,569	-819	18,727	15,719	3,008	66,835	77,338	-10,503	0	0	0
支出	人件費			0	6,236	6,112	124	16,945	15,600	1,345	40,792	45,723	-4,931			0
	事務費			0		9	-9	25	33	-8	246	468	-222			0
	事業費			0	365	276	89	1,184	1,180	4	21,655	23,698	-2,043			0
	管理費			0						0			0			0
	その他			0	6,398	7,218	-820	0	492	-492	0	76	-76	0	0	0
	利用者負担軽減額			0						0		76	-76			0
	消費税			0						0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	6,398	7,218	-820			0			0			0
				0						0			0			0
	その他			0					492	-492			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	12,999	13,615	-616	18,154	17,305	849	62,693	69,965	-7,272	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	1,751	1,954	-203	573	-1,586	2,159	4,142	7,373	-3,231	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成31年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	

事業の性質 1 優先的に取り組みが求められる事業

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	子育てティーサロン	H7	1 地域交流	3 乳幼児		1 優先的に取り	少子化や核家族化にともなう子育て環境の孤立化を解消するため、就園前の乳幼児と保護者を対象にサロン事業として、保護者同士、ボランティアとの情報交換をおこなう。	子育て中の保護者同士の交流、子育てに関する相談へのアドバイスを行う。ボランティアグループ「まつぼっくりの会」が当日の進行を行い、ケアプラザが運営を行う。また、地域の保育園、他のボランティアグループの協力を得て、育児講座、手遊び、人形劇公演等を行う。	21	460
2	親子のひろば ぼっかぼか	H23	1 地域交流	3 乳幼児		1 優先的に取り	地域内で気軽に親子で過ごせる場を提供。また、保護者、子同士の交流の機会となるように子育て支援の目的で開催する。	自由に親子で過ごせるフリースペース。10時～14時までオープンしている。12時～13時はお弁当タイム。開催時間内に育児講座も開催する。	12	239
3	ご近所茶話会	H7	5 共催(1と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	参加者の仲間づくり、生きがいつくりの支援、および参加者の安否確認をおこなう。	地域の高齢者を対象としたサロン事業で、健康維持のための体操、レクリエーションを行う。頭・手先を使ったレクリエーション、体を使ったレクリエーションなどを交互に取り入れ、楽しみを提供する。また、抹茶和菓子を楽しむ。個人ボランティアが企画・運営にも携わっている。	10	555
4	3Aプログラムの会	H25	6 共催(2と3)	1 高齢者		2 発展させるね	地域の介護予防と孤立予防を目的に開催。地域の仲間作りとしてグループ化も図る。自主的に運営できるように支援する。	認知症予防プログラムの実施。サポーターを中心とした企画検討会を会終了後行い、サポーターが自主的に活動できるよう支援する。	22	321
5	AIAIAIの会	H28	6 共催(2と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	認知症予防の普及啓発事業を身近な地域で参加してもらうこと、広げることを目的に町内会館で実施する。	認知症予防プログラムを実施する。	11	102
6	豊田スクエア ステップ	H28	6 共催(2と3)	5 地域		1 優先的に取り	高齢者の転倒予防、介護予防、認知症予防の効果を推進する。	専用のマットを利用して、ステップパターンを覚えて、間違わないように前に進む足踏みエクササイズを実施する。身近な地域でも事業開催できるよう、リーダー、サポーター養成支援を行う。	21	521
7	介護者のつどい 「お茶べりサロン・クローバー」	H10	6 共催(2と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	介護者のリフレッシュと介護者同士の情報交換や仲間づくり、気持ちの共有を目的とし、リフレッシュできる場の提供。	日頃の介護に関する情報交換・懇談会、本人と介護者・ボランティアとの望年会、料理や創作活動などを行う。	11	269
8	出前講座「地域の 勉強会 ～健康寿命を長く 笑顔で生活～」	H22	6 共催(2と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	町内会にて健康で生活を続けていくためには、日ごろからどのような取り組みが必要なのかを知る機会を設け、学びつつまでも健康でいられるようにする。	地域住民を対象として、いくつになっても好奇心を失わず、新しいことにチャレンジしていく気持ちを持ち続けてもらうことが老化を遅らせるコツであることを伝える。	1	20
9	若年性認知症 栄区の集い 笑風の会	H25	7 共催(1と2と3)	7 その他		1 優先的に取り	栄区内ケアプラザ6館が協力し、行政機構等との共同により若年性認知症の人とその家族を支え、自らの意思に基づいて地域福祉の向上に努めることを目的とする	若年性認知症の方と家族のつどいを栄区内6地域ケアプラザ及び関係機関と協力し、家族のつどいで、ご家族の悩み等話し合いをする場とご本人向けのレクリエーションを開催する。年3回開催。	3	164
10	障がい児余暇支援 事業	H21	1 地域交流	2 障害者		1 優先的に取り	障がい児の余暇を支援する事業として豊田地域ケアプラザと笠間地域ケアプラザで共催。共催することで参加者や支援者の参加機会が広がり、地域の障害に対する理解と交流する機会を広めることが出来る。	8月・10月・12月・3月の年4回開催。各回、季節に合わせた催しをおこない、8月は夏まつりを実施。豊田・笠間地域の小中学校特別支援学級と本郷台特別支援学校等に周知をおこない参加者を募る。参加費を徴収し、食事やおやつ、創作活動等のプログラムを提供。	3	101

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
11	ガーデニング部	H30	6 3 (共催(2と))	5 地域		1 優先的に取り	認知症の方と地域住民と一緒に畑作業をすることで、認知症の理解啓発をする。認知症ではない方も他者と関わるきっかけを作る。	月に1・2回の畑作業をしながら、認知症についての理解をはかった。	11	114
12	読み聞かせボランティア講座	R1	1 地域交流	4 子ども		2 発展させるね	保護者同士で交流を図ったり、今後ボランティア活動に反映できるよう数名の前での読み方や本の選び方のポイントを栄区図書館司書の方を講師に迎えて学んだ。	図書館司書を講師として招き「読み聞かせ」のポイントなどを学ぶ。今後も講習会を重ね高齢者に向けての読み聞かせなども学び活動の場を広げていく。	2	18
13	豊田スタイル		7 3 (共催(1と2と))	5 地域		1 優先的に取り	ボランティア養成、元気な高齢者の介護予防、生きがい作りを目的に開催する	体操、脳トレなどの介護予防講座、ボランティア養成を目的としたスキル講座を行う	6	100
14	豊田夏ボラ講座	H18	1 地域交流	4 子ども		1 優先的に取り	豊田地区在住の中学生・高校生・専門学校生・大学生を対象に、①自分の住む地域を知って活躍できる居場所を見つけるきっかけを作る②体験を通して地域のイベントやボランティア活動の実態を知ってもらう③ボランティアとして地域の活動やニーズに対応できる人材を発掘する④未来の地域の担い手として地域活動やボランティア活動の必要性を伝	豊田地区の福祉施設等を体験施設とし、ボランティア活動を希望する生徒自身で体験施設を選択しボランティア活動を実施。事前のオリエンテーション、ボランティア終了後は活動を振り返る場を設けた。	2	49
15	いきいきポイント登録研修会	H22	5 3 (共催(1と))	1 高齢者		1 優先的に取り	介護施設等でボランティア活動を行うとポイントがたまり、換金、寄付することができるポイント制度を周知し、ボランティアを促進する。	令和元年度栄区内6館ケアプラザの合同事業「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を開催し、豊田地域ケアプラザでは10月に開催した。	1	8
16	会場利用団体連絡会	H15	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り	豊田地域ケアプラザを利用し活動している団体を対象に、施設利用等の説明をおこなう。	・施設利用方法の周知 避難経路の確認 ・貸しロッカーの説明 ・施設利用に関する意見交換	3	42
17	ガイドボランティア講座	H31	7 2 3 (共催(1と))	5 地域		1 優先的に取り	地域の在住の中学生の通学支援者登録・活動につなげることとガイドボランティアの活動を周知することと生きがいづくり、地域活動を目的とする。	地域での障害児者に関わるボランティア活動の養成講座	1	10
18	小菅ヶ谷小学校	H30	7 3 (共催(1と2と))	4 子ども		1 優先的に取り	高齢者、障害者の理解を深めるとともにケアプラザについて地域へ広報する。	小菅ヶ谷小学校の総合学習の時間に協力し、小学校4年生に対して高齢者、認知症高齢者について理解を深めるように講座を開催。プログラムとして①認知症サポーター養成講座(小学生版)②デイサービス訪問(10日)	3	166
19	湯った〜りサロン	R1	4 2 (共催(1と))	5 地域		2 発展させるね	豊田地区にある湯快爽快 たや お休み処を利用し、施設を利用する多世代の方々に向けて、健康講座や介護の相談会を開催し、介護保険制度の理解や相談する機会を作ることができる。	日帰り温泉のお休み処を開催場所として提供いただき、健康を意識した講座や地域住民も一緒に勉強会等を企画していくことを目標にサロンを立ち上げた。 今年度は①筋肉量と骨密度測定会②認知症予防についての勉強会を開催。合わせて出	1	50
20	親を介護されている方向けの介護者の集い	H30	6 2 3 (共催(2と))	7 その他		1 優先的に取り	親を介護されている方を対象とした集い。介護者のリフレッシュと介護者同士の情報交換、仲間作り、気持ちの共有を目的とする。	半年に1回の開催しており、1回目として5月に開催。日頃の介護に関する情報交換・懇談会。	4	87
21	飯島小学校認知症サポーター養成講座	H23	6 2 3 (共催(2と))	5 地域		1 優先的に取り	高齢者、障害者の理解を深めるとともにケアプラザについて地域へ広報する。	飯島小学校の総合学習の時間に協力し、小学校4年生に対して高齢者、認知症高齢者について理解を深めるように講座を開催。プログラムとして①認知症サポーター養成講座(小学生版)②高齢者疑似体験車いす体験。③サポーター養成(7月)④2度目のサポーター養成(7月)	8	265
22	いつか来る「その時」に備えた連続講座						誰にでもやってくる人生の最期の時を充実したものにしてもらうため、福祉・医療・介護等について学ぶ講座を行う。栄区で作成したシニアライフノートを普及啓発することも目的とする。社会福祉士主催。	福祉・医療・介護などの専門家より話を聞く講座。7月から10月にかけて毎月1回開催する4回シリーズ。シニアライフノートを一人1冊配布し、話を聞きながらノートを書き進めていく。	4	96
23	ロバとも・とよだ	H30	7 1 2 3 (共催(1と2と))	5 地域		1 優先的に取り	認知症キャラバン・メイトを持ったメンバーが集まり、希望に応じて認知症サポーター養成講座を行う等理解啓発につとめる。	2ヶ月に1回の割合で会議を開催。講座の打合せや認知症に関する勉強を行う。	7	59
24	遊び場テラス	H17	1 地域交	4 子ども		1 優先的に取り	テラスの有効利用と貸室利用促進、子育てサークルの活性化を図る	テラスを解放した親子・子育てサークルで遊べるプール遊びを実施	6	97

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
25	世代間交流	H25	1 流 地域交	5 地域		に 1 取 優 組 先 み 的	地域の乳幼児・小学生・中学生と高齢者との世代を越えた交流の場を設けることにより、お互いを知りあい関係性を築くことで、互いに支えあえる地域づくりに繋げる。	工作や昔遊び等のプログラムを通じて互いに教え、教わりながら世代間の交流を図る。おやつ(小松菜のケーキ)を提供し菜区で取れる野菜を使い食を通じた参加者同士のコミュニケーションに繋げる。	1	48
26	たまり場とよだ	H30	(4 1 と 共 2) 催	5 地域		せる 2 ね ら ら い 発 展 さ	学齢期の子どもの居場所として、また地域の交流の場として、「たまり場とよだ」を開催。誰もが集い、支え合える場所として地区全体に開催場所が広がることを目的とする	課後16時～19時まで開催。16時15分～18時30分はカレーを提供する。あそび場コーナー、宿題コーナー等を用意し、参加者同士が交流する場面を作る	11	2,123